

まつえ 市議会だより

No. 58

2023
11月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER



11月定例会

補正予算、条例の制定・改正、議員提出案件の審査結果

P2~4

11月定例会一般質問

19人の議員が質問

P5~9

委員会行政視察報告

議会運営委員会ほか4つの常任委員会が視察

P12~14

(シリーズ)

松江の元気な子どもたち②



「みてみて！みんなの干し柿でーきた」

—秋鹿幼稚園—

近所のお宅で柿をとらせてもらい、園児が自分たちで干し柿づくりをしました。おやつにどれを食べるか選んでいるところです。〈取材：たちばな委員・小澤委員〉

11月定例会

令和5年11月28日～12月20日

松江市ガス事業譲渡先選定委員会条例、 総合体育館改修、電力・ガス・食料品等 価格高騰対策などを審議

今議会は、市長提出議案64件を審議し、すべて原案どおり可決（全会一致60件・賛成多数4件）しました。また議員提出議案5件を可決しました。

一般質問には19人の議員が立ち、市長の政治姿勢、令和6年度予算編成に向けた考え方、松江市地域公共交通計画、子育て支援などについて市長はじめ執行部の見解を聞きました。

令和5年度松江市一般会計補正予算（第6号） 21億5,816万円増

- | | |
|---|------------|
| 1、新型コロナウイルス感染症対策、電力・ガス・食料品等価格高騰対策
(宿泊施設高付加価値化、指定管理者支援ほか) | 2億151万円 |
| 2、その他の政策的事業
(「雨の日でも遊べる空間」の充実、新庁舎建設にかかる建設資材価格の上昇等への対応、災害復旧ほか) | 2億2,664万円 |
| 3、財務調整に係る補正
(財政調整基金積立金、長期債償還元金ほか) | 20億2,425万円 |
| 4、令和4年度補助採択に伴い令和5年度に不用となった事業費の減額 | ▲2億9,424万円 |

※このほか、松江市総合体育館改修整備管理運営事業費について、令和6年度から令和18年度までの期間で総額42億2,247万円の債務負担行為（次年度以降も支払いを約束すること）を設定。

令和5年度松江市一般会計補正予算（第7号） 18億6,926万円増

- | | |
|---|-----------|
| 1、物価高騰対策
(住民税非課税世帯に対して1世帯当たり7万円を追加給付) 15億2,250万円
(燃料価格高騰の影響を受ける交通事業者への支援) 1,001万円 | |
| 2、給与条例等の改正に伴う人件費等の補正
(職員人件費、議会関係経費、公民館関係経費ほか) | 3億1,360万円 |
| 3、衆議院議員補欠選挙にかかる補正
(補欠選挙にかかる準備経費) | 2,315万円 |

条例の制定・改正（主なもの）

松江市ガス事業譲渡先選定委員会条例の制定について

都市ガス事業を将来にわたって継続・発展させることができる譲渡先事業者を選定するため、松江市ガス事業譲渡先選定委員会を設置するもの。（3ページに関連記事）

松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例の一部改正について

障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律の改正を踏まえ、事業者による合理的配慮の提供を義務化するもの。（3ページに関連記事）

議員提出案件の審査結果

件名	結果
議員提出議案 第4号 松江市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第5号 企業版ふるさと納税制度の延長を求める意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第6号 緊急浚渫推進事業債の延長を求める意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第7号 認知症との共生社会の実現を求める意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第8号 パレスチナ地域における人道支援に関する決議について	原案可決（全会一致）

令和5年11月補正予算の概要
(松江市ホームページへ)



第6号
(PDFファイル：2.3MB)



第7号
(PDFファイル：1.4MB)

常任委員会報告〈主な審査内容（質問に対する市の答えを掲載しています。）〉

総務委員会 … 議案18件「原案可決」

(12/7開催)

松江市ガス事業譲渡先選定委員会条例の制定について

- ※9月定例会で閉会中の継続審査となっていた本議案について、11月17日に閉会中審査を行いましたが、委員より「公民館での説明会が全部終わっていないことから、後日改めて審査したい」との意見があつたため、12月7日に再度審査を行いました。経済委員会との連合審査会では、委員からの質疑に対し、以下の答弁がありました。
- 譲渡先選定委員会で検討する譲渡先の選定条件として、地元業者への配慮を最大限盛り込める検討していただくように進めていきたい。
 - 民営化に関する説明のため、現在も引き続きお客様宅への訪問を実施しているところであり、今後も積極的に実施していきたい。

教育民生委員会 … 議案16件「原案可決」、陳情1件「不採択」

(12/8開催)

松江市障がいのある人も共に住みよいまちづくり条例の一部改正について

- 民間事業者による合理的配慮の提供が努力義務から義務化されることについては、各商工会議所、旅館ホテル組合、医師会、弁護士会等を通じてチラシの配布をお願いしたり、役員会等で説明をさせていただいており、市報やホームページでの周知も行っている。
事業者による合理的配慮とは、過度な金銭的負担とならない範囲で実施する配慮のことであり、スロープや障がい者トイレへの改修といったところまでは義務化されておらず、車椅子の方の介助を行うなど、障がいのある方との対話を大切にし、対応するものである。義務化となることによる施設の修繕に対する市からの補助はなく、全国的にみても補助のない自治体が多数である。



経済委員会 … 議案11件「原案可決」

(12/11開催)

指定管理者の指定について

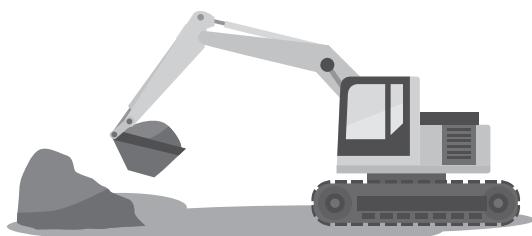
- ※ふるさと館、八雲構造改善センター、松江市八雲山村広場、折原本郷地区農村公園及び折原地区広場緑地等利用施設の指定管理者として特定非営利活動法人八雲総合サービス協会を指定するもの
●松江市八雲山村広場にあるテニスコートの芝の張り替えの要望が出ており、修繕箇所に応じ改修をしていきたい。

建設環境委員会 … 議案4件「原案可決」

(12/11現地視察、12/12委員会開催)

市道路線の認定について

- 私道を市道へ編入する議案の議会上程時期については、市道編入の相談を受けてから、市道認定要綱に合致しているなどを確認し、その直近の議会に諮ることとしている。



【現地視察】
市道西尾大井線関連大橋川改修工事を視察

令和5年度松江市一般会計補正予算（第6号）

総務分科会（
12/7）

●質疑のあった項目	①戸籍や住民票交付におけるコンビニエンスストアの利用状況 ほか
●執行部の答弁	①コンビニエンスストアでの交付件数が年々伸びており、現在、有料での交付件数の2割近くとなっている。

教育民生分科会（
12/8）

●質疑のあった項目	①特別支援学級整備事業について ほか
●執行部の答弁	①令和6年度に特別支援学級を新增設する予定の小中学校において、児童・生徒の受け入れに必要な整備を行うための事業費である。令和5年度は560人が在籍しているが、令和6年度は586人が在籍する予定であり、15学級を新設あるいは増設する予定である。

経済分科会（
12/11）

●質疑のあった項目	①移住支援事業費の事業の内容と利用実績について ほか
●執行部の答弁	①東京一極集中の是正を目的に、国が定めた制度を活用し東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）から松江市内で就業や起業をする移住者に対し、支援金を支給する事業となる。対象者は、居住の要件と就業の条件があり、補助金の申請日から5年以内に市外へ転出した場合や退職した場合については、補助金の返還規定も設けている。 利用実績は令和2年度6件、令和3年度7件、令和4年度17件となっており、令和5年度は相談中も含めて単身移住13件、世帯移住13件のあわせて26件である。

建設環境分科会（
12/12）

●質疑のあった項目	①道路事業の繰越しによる社会資本整備総合交付金などへの影響について ②工事の入札不調に係る工期の設定について ほか
●執行部の答弁	①補助事業の予算化は、毎年度、中期財政見通しに基づき予算要求しており、社会資本整備総合交付金なども計画額に従い国や県に対し要求しているので、次年度に繰り越すことによる影響は少ないと考える。 ②工期の算定については、県の積算基準に基づき工期を設定している。また、発注にあたり複数の小規模工事をまとめることで工期を長くし、作業員等の人員を確保しやすくするなど、入札不調とならないよう調整を行っている。

令和5年度松江市一般会計補正予算（第7号）ほか議案 13 件

●物価高騰対策について

給付金について、「令和5年度の住民税が非課税の方などが対象で、前回令和5年6月の給付以降に課税状況などの変更がないか先行して調査している。給付は令和6年2月頃になる見込みだが、できるだけ前倒しできるよう作業を進めたい」との答弁がありました。

●松江市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について及び松江市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

討論では「人事院勧告に基づき上がるときは上げる、下がるときは下げる判断をしてきたので賛成」、「国の法律、人事院勧告に準じて引き上げる根拠がなく、市民の理解は得られないと考え反対」との意見があり、採決では賛成多数で可決されました。

11月定例会 一般質問

市政のここが聞きたい 19人の議員が質問

11月定例会では、12月4日、5日、6日の3日間にわたり19人が一般質問を行いました。

紙面の限りがあるため質問した議員本人が通告した項目の中から一つを選び、要旨をまとめたものを掲載しています。なお、写真右のQRコードを読み取っていただくと当日の映像をご覧いただけます。



いしくら しげみ
石倉 茂美
(志翔の会)



- 職人商店街の活性化について
- 島根スサノオマジックの集客について
- 農業問題について
- 小学校開校150年について

会派代表質問

18歳以下の入場料は松江市が補助し、 質問 入場者数を確保してはどうか

18歳以下の入場料は松江市が補助し、入場者数を確保してはどうか。

球団と連携して、子どもたちが

回答 観戦しやすい環境づくりを進める

松江市総合体育館で開催される26試合のうち、開幕戦や最終戦など8試合は、大人も子どもも同額の料金設定になっているが、それ以外の18試合については、子ども用に1,000円のシートが設けられている。令和5年10月には、活動に協力していただいた児童や学生を無料で招待した。

今後も、平均入場者数4千人以上の確保とともに、子どもたちの無料招待や、低料金で観戦できる機会を設けるなど、球団と連携し子どもたちが観戦しやすい環境づくりを進めていく。



よねだ ときこ
(明政会)



- 海外視察の成果について
- 令和6年度予算化について
- 出雲・仙台便FDA路線の継続について
- 認知症バリアフリーの推進について

会派代表質問

連携方策を検討し、実現可能性が高いと判断したものは何か伺う

アメリカでの企業訪問やシンポジウム開催、Ruby関係者訪問等により連携方策を検討した結果、何をどう実現可能性が高いと判断したのか伺う。

物流などのベンチャー企業等の

回答 具体的な紹介を受けた

企業訪問や意見交換を行い、市内企業と協働できる可能性がある物流・環境・福祉分野のベンチャー企業や人材について具体的に紹介を受けた。中でも物流サービスを提供するスタートアップ企業とは、地元企業とともにオンラインミーティングを重ね、ビジネススペースの採算性について検討を図っている。また、シンポジウムで面会した日本の技術系企業からは移動サービスに関する社会実験の相談を受け、その後本市に視察に訪れるなど、地元企業とともに具体的な検討を進めている。



もりわき はやと
森脇 勇人
(松政クラブ)



- 来年度予算編成について
- 中期財政見通しについて
- 市長の市政運営、議会とのかかわりについて
- 原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法について 他6件

質問 今後の財政運営の課題と方向性は

公債費比率を中核市並みに下げる求め、計画以上の繰上償還を行い投資的経費が抑制されてきた。今後の繰上償還、投資的事業、人件費など経常経費の増加に対する考え方を伺う。

地方債のバランスと、機動的な運用に

回答 対応できる財政基盤を確保する

公共施設の適正化やデジタル化による業務の効率化などの財政健全化策を講じるとともに、有利な財源の活用を通じて基金の積み増しに努め、機動的な運用に対応できる財政基盤を確保する必要がある。また、繰上償還については今後も地方債の新規発行と償還のバランスを確保し、投資的経費は今後5年間の普通建設事業において一定規模の事業費を積みあげている。経常経費については職員の適正管理、公共施設の適正化、自主財源確保のためのネーミングライツなどの取り組みを強化したい。



つもり りょうじ
津森 良治
(民主ネットワーク)



- インボイス(適格請求書)
- 夜間中学の設置
- マイナンバーカードをめぐる問題
- 介護保険制度
- 松江市ガス事業民営化基本方針

会派代表質問

夜間中学の必要性について

質問 検討いただきたい

2016年には国において教育機会確保法が成立し、2020年の国勢調査によると本市には最終学歴が小学校卒の方が1,338人おられる。戦前、戦後の情勢や、今日では不登校や病気などにより思うように学校に通えなかつた方の学び直しの機会、そして外国籍の方の教育を受ける機会としても、夜間中学の設置の必要性について検討いただきたい。

県内の各教育委員会と

回答 情報共有や意見交換を行う

夜間中学の設置は、十分に教育を受けられなかった方や外国籍の方など、幅広い方々を対象に義務教育を受ける機会を保障する面から意義がある。一方で、多様な学習ニーズに即した学びの場として県立宍道高校が設けられている現状も踏まえ、県内の各教育委員会と話し合い、必要に応じて県教育委員会に要望していく。



おおた
太田 哲
(公明クラブ)



- エネルギー高騰および物価高騰対策
- 労働条件審査
- 小中学校のトイレの洋式化
- 手話言語条例
- 補聴器の購入助成制度

会派代表質問

ろう者および手話通訳者の人数と 手話言語条例の取り組みを伺う

ろうあの団体と意見交換を行った。約30分であったが手話通訳者が2人必要であった。現在、手話通訳者は足りておらず、災害時に取り残されるのではないかとの不安の声もある。手話言語条例は出雲市と益田市にあり、当市でも条例の制定は必要と思うが、ろう者および手話通訳者の人数と条例制定の取り組みについて伺う。

回答 手話言語条例制定のため検討を進める

手話を主な言語としている聴覚障がい者は約100人と把握しており、手話通訳者は31名が登録されている。また、松江市身障者福祉協会より条例制定の要請を受けており、手話は言語であるとの認識に基づき、手話への理解と普及を推進し、手話を必要とする方の意思疎通の権利も尊重される共生社会の実現に向けて、松江市聴覚障害者協会と条例制定のための具体的な協議を始めている。



はらだ
原田 守
(松政クラブ)



- こども家庭センター設置後の子育て支援（特に産後ケア事業について）
 - 小学校区に存在する飛び地や凸凹地域について（通学路の安全確保の面並びに健康面から考える）
 - 不登校について
 - 松江テルサの使用状況と今後の活用策について
- 他2件

こども家庭センター設置後の状況と 一時預かり事業の今後の展望は

こども家庭センター設置後の状況と一時預かり事業の内容と現状、さらに今後の展望について伺う。

幅広い相談対応が可能となり、

回答 一時預かり事業のさらなる充実を図る

センターを設置し相談窓口を一本化した結果、乳幼児の発育・発達に関する相談から育てにくさや虐待の懸念に関する相談まで幅広い内容に対応可能となった。

一時預かり事業は、保護者の心理的、身体的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境整備上、重要と認識している。0歳児を受け入れている13施設のうち、2施設が生後57日から受け入れている。近年、特に生後間もない乳児の預かりへのニーズもあり、生後8日目からの預かりを検討中の助産院もある。保護者のニーズを的確に把握し、事業の更なる充実を図っていく。



いわもと
岩本 雅之
(志翔の会)



- SDGs未来都市の取り組みについて
- 脱炭素先行地域の取り組みについて
- まち歩きマップについて

松江市全体において、今後どのように まち歩きマップを活用していくのか

SDGs未来都市や脱炭素先行地域を推進する松江市全体において、今後どのようにまち歩きマップを位置づけて広く活用していく考えなのか伺う。

健康づくりやマイクロツーリズムとして、 回答 観光振興にも活用していく

現在、このマップを活用し、公民館や地元ガイドの協力を得て、「歴史のまち歩き」と題したウォーキングイベントを実施している。マップを使ったまち歩きは、地域の知られざる歴史の探訪や地域資源の掘り起こしと合わせ、健康づくりや歩いて楽しめるマイクロツーリズムとして、観光振興にも活用できる。今後は、誰でも気軽にスマートフォン等で利用できるよう、デジタルマップアプリへの文化資源情報の登載等、市民、旅行者、民間事業者の皆様が幅広く使える方法を検討していく。



ほそぎ
細木 明美
(明政会)



- 松江産アワビの栽培漁業および陸上養殖の現況と今後の見通しについて
- 過疎計画の進捗状況と市の考え方について
- 一畑バス廃止路線の対応について
- 松江市都市マスターplanについて

4路線廃止の申し入れに対し、 質問 市の考え方と対応策をもっているのか伺う

来年2024年9月末で4路線を廃止するといふ一畑バスからの申し入れに対しては、松江市としてどのような考え方があり、現時点で何らかの対応策をもっているのか伺う。

地域住民への影響が少ない形で

回答 検討していく

一畑バスから11月17日に路線廃止の申し入れを受け以降、一畑バスや、当該路線に關係する雲南市、安来市とともに対応策を協議している。具体的な対応策として、一畑バスの他路線との調整による路線維持、コミュニティバス・AIデマンドバスなどによる代替、交通事業者への当該路線の運行委託などが想定されるが、各路線の状況を踏まえて、地域住民への影響が少ない形で検討していきたいと考えている。



かいとく
海德 邦彦
(公明クラブ)



- 官民連携による小型家電と大型家電4品目の収集運搬事業について
- 不要布団のリサイクルについて
- 屋根付き遊具等のある公園整備について
- 受動喫煙防止対策について

官民連携による大型家電4品目の 質問 収集運搬事業を取り入れるべきではないか

他市において、廃棄する大型家電4品目とあわせて小型家電を回収するほか、事前のリサイクル券の用意を不要とする事業が開始されており、市民にとって非常に便利だと考える。市民サービス向上と正しいリサイクルの促進を図るために、官民連携による小型家電と大型家電4品目の収集運搬事業を、処理方法の選択肢の一つとして取り入れるべきと考えるが見解を伺う。

官民連携については、積極的に 回答 取り組んでいきたいと考えている

廃棄家電を収集運搬する事業者は、小売業者でないためリサイクル券を取り扱うことができず、利用者は一旦郵便局でリサイクル券を購入してから収集を依頼しなければならない状況にある。市民サービス向上と、正しいリサイクルの促進を図ることのできる官民連携については、積極的に取り組んでいきたいと考えている。



やまね
山根 宏
(民主ネットワーク)



- 路線バスについて
- 会計年度任用職員について

路線バス運行のための貸切バス運行抑制分質問 について支援する考えはあるか

人員が限られるなか、路線バスを確保していくためには行楽シーズンの貸切バスの運行を減らし、その分の運転士を充てるしかないのでと思う。そのためには貸切バスで出たであろう利益分を支援しなければ路線確保は難しいと考えるが市の考えを伺う。

財政支援による損失補填が前提となる 回答 恐れがあり、安易に導入すべきでない

松江市としても、一畠バス・交通局とも貸切バスの受注を抑制しながら路線バスの安定的な運行に務めていることは承知している。利益補償については財政支援によって損失補填が前提の事業運営となってしまうという恐れもあり、安易に導入すべきではないと考えている。一方、運転士不足対策について交通事業者と連携し、関係者とも協議を重ねていく。



むらまつ
村松 りえ
(志翔の会)



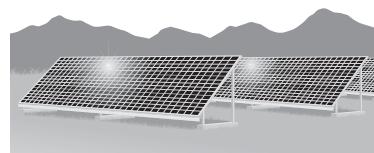
- まつえ循環プロジェクト
- 台湾との交流促進
- 松江カントリーラブ跡地のメガソーラー建設

質問 協定締結の際の松江市の立ち位置は

6月議会で提案した、メガソーラー事業がつつがなく履行されるための提言、設計書通りに操業されているかの立入調査、生命、財産が侵害された場合の補償などを含めた協定について、自治会が協定締結に向けて積極的に取り組んでいる。この際の松江市の立ち位置について伺う。

立会人として協定の内容や 回答 締結スケジュールについて協議を進める

自治会、公民館、地域の自治会連合会の協議においては、協定の実効性を担保するため、オブザーバーとしての立会人として適時指導、助言を行う立場が望ましいとの意見が出された。これを踏まえて、本市は立会人として協定の内容や締結スケジュールについて協議を進める。



にしこおり
錦織 伸行
(会派に属しない議員)



- 松江城の南側に計画されている「19階建ての高層マンション」について
- 上定市長にとって国際文化観光都市、松江の本来的なあり方について
- 松江水郷祭運営の開催の基本的な考え方、並びに今後について

現在の計画を知ったのはいつで、 質問 どういう協議を行って方針を決めたのか

事業者の最初の来庁以降の内部協議の流れと対応方針を問う。

令和4年10月27日の相談で知り、 回答 景観計画に基づき協議を行った

最初に当該地の景観上の基準や広告物の基準についての相談があり、この計画を知った。このとき提出された書類では、建物高は地盤高を加えても松江城天守からの眺望の高さを超えておらず、眺望基準に適合するものとして協議した。

その後、数回の協議を経て令和5年9月21日に提出された資料において、マンションの高さが前回資料よりも高くなっていることを知った。眺望基準に適合しない恐れがあると判断し、当該基準に適合するように事業者へ指示した。このことについて、9月27日に担当部局から市長へ報告を行い、市長からは事業者において再検討がなされた上で正確な合成写真の提出を求めるよう担当部局へ指示があった。



みしま すすむ
三島 進
(松政クラブ)



- 松江大橋南詰源助祭の継承について
- 幼稚園19園と幼保園4園、合計23園の統廃合について
- 幼稚園周辺の安全対策について
- 樹木に対する考え方について

今後の幼稚園、保育所の在り方について

質問 どのような検討をするのか

現在、特に幼稚園への入園児の減少傾向が著しい。今後の幼稚園、保育所の在り方をどう考えているのか。また、行政がこれだけの数の幼稚園、保育所を整理合併すると、民間の保育所が大変な事態になる恐れがあると考えるが、どのような検討をするのか。

中学校区を1つの単位として、

回答 幼稚園、保育所の再編の検討を進める

一部の幼稚園や保育所においては、年齢別のクラス編制が困難となる園児数がおよそ20人以下の施設が増えしており、集団教育の場を維持することが難しくなっている。

今後は中学校区を1つの単位とし、一定規模の集団人數を確保し適切な幼児教育・保育が提供できるよう、再編を検討していく。また、民間の認定こども園の設置状況を含めて、地域ごとの現状を考慮しながら進めていく。



なかむら
中村 ひかり
(志翔の会)



- 入札・契約制度の在り方
- 空き家対策
- IT産業振興
- 産後ケア
- 子どもの食物アレルギー
- 不適切保育

アレルギー対応食を提供できない

質問 学校について今後の対応策を伺う

アレルギー対応食を提供できない26校にはどのような課題があるのか、その課題に対して今後の対応策を伺う。

施設の老朽化に伴う改修に併せて

回答 専用調理室を設置する

市内にある3つの学校給食センター（北・西・東出雲）では、調理場が狭くアレルギー食提供のための専用スペースを確保することが困難な状況にある。

今後、施設の老朽化に伴う改修に併せて専用調理室を設置することで、安全性を最優先にしたアレルギー対応食を提供できるようにしていきたい。



たなか あきこ
田中 明子
(公明クラブ)



- 認知症対策について
- まつえ市民大学について
- 高齢者活躍推進に向けた施策について

質問 令和6年度の受講者募集について方針を伺う

まつえ市民大学について、令和5年度中に抜本的な見直しを図るとされているが、令和6年度の募集はどうされるのか。

まつえ市民大学に代わる新たな学びの場

回答 を提供する予定

まつえ市民大学は令和5年度末をもって終了することとし、令和6年度からはそれに代わる新たな学びの場を本市直営で提供する。

カリキュラムについては市民の関心が寄せられている防災・減災に資するノウハウや、専門的な知見を有する民間企業、健康・衛生関連の専門家が在籍する医療機関などと連携して魅力的なプログラムを編成したい。また、出前講座なども活用して費用対効果も考慮した内容を企画し、カリキュラムがまとまり次第、広く市民を対象に受講者を募集する予定である。



はせ がわ しゅうじ
長谷川 修二
(公明クラブ)



- 生理用品の無償配置について
- 航空便の活性化について
- 公共交通の現状と対策について
- 人手不足と自動運転やロボット技術の導入について
- 学校のトイレ洋式化について
- 認知症対策について

レッドボックスとの連携に加え公費による

質問 生理用品の無償配置を導入すべき

松江市が女性に優しいまちとして、外出先で女性の皆さんが困ることがないように、管理が行き届きかつ利用者数が多い市内の公共施設において、女子トイレの個室内にレッドボックスと連携した生理用品の無償配置を今より拡充したり、公費による生理用品の無償配置を提案するが所見を伺う。

市役所本庁舎に無償提供できる機器の

回答 設置を進める

本市では、国際チャリティー団体のレッドボックスジャパンとの連携による生理用品の無償設置の取り組みの拡充に加えて、市役所本庁舎に令和5年度中をめどに生理用品を無償提供できる機器を設置して、利用された方の意見を伺いながら検証を進めていきたい。



たちばな ふみ
(共産党市議団)



- 美保基地と平和
- 原発汚染水放出と島根原発
- 気候変動・猛暑・大雪対策
- 医療や保育の現場へ物価高騰支援を
- 松江市ガス局の民営化について
- 再エネビジョンとメガソーラー
- 子どもの意見尊重する松江へ**
- 赤貝（サルボウガイ）と中海振興

「安心して学校に」子どもたちの声にこたえ、 質問 学校のトイレに生理用品を

松江市は子どもたちの考えを尊重する「#こどもまんなか松江」を提唱している。令和4年8月から市民団体が市内の小中学校5校で「学校のトイレに生理用品を」と生理用品の寄附とアンケート調査を取り組んだ。小学4年から中学2年までの338人が回答し、285人が「安心して学校にいける」200人が「トイレの個室にあった方がよい」と回答した。

松江市は現在、市内3か所の公共施設のトイレに生理用品を設置している。子どもたちの声に応え、市内の小・中・義務教育学校、高校のトイレの個室に生理用品を置くべきと考えるがどうか。

回答 児童生徒の気持ちや意向を把握したい

教育委員会としても、児童・生徒の気持ちや意向を詳細に把握したいと考えており、独自のアンケート調査などを実施し、現状把握に取り組んでいく。



舟木 健治
(共産党市議団)



- 不登校支援について**
- 措置制度である養護老人ホームについて
- 障がいがある方の参政権の保障について

「不登校・いじめ緊急対策パッケージ」の 質問 取り組みについて伺う

令和4年度の全国の不登校児童生徒数は29万9千人で過去最多となり、文部科学省は「不登校・いじめ緊急対策パッケージ」を通知し、校内教育支援センター設置やICT環境の整備、学びの多様化学校等の設置促進を示した。安心して過ごせる居場所づくり、フリースクールへの公的支援は喫緊の課題だが、今後の取り組みについて伺う。

実情に合った校内教育支援センター、 回答 学びの多様化学校について研究したい

各校の実情に合った校内教育支援センターを運営し支援につなげたい。学びの多様化学校については、情報収集しその効果を研究したい。フリースクールは安心して過ごせる居場所として、また多様な学びの場の選択肢の一つと認識しており、公的支援については、市内フリースクールの実態調査を行い、検討を進めたい。



三島 明
(明政会)



- 松江を豊かにする多様な農業人材の育成
- 10年先、20年先の子どもたちの心に残る教育を**
- リニューアル後のプラバホール

ふるさと教育をますます充実させて 質問 いただきたいが所見を伺う

基礎学力の習得は大事なことだが、学校は知・徳・体のバランスの取れた学びが求められる。ふるさとへの愛着や誇りの醸成、地域に貢献しようとする意欲の喚起こそ、公教育の場でつけたい力ではないか。これからも松江のふるさと教育をますます充実させていただきたいと願うが、教育長の所見を伺う。

子どもたちの学ぶ意欲や生きる力を 回答 育む上で、その果たす役割は大きい

体験的な学びや多様な人々との出会いを経験することで、世界の中のふるさと松江を知り、愛着を深め、夢の実現に向けて、自ら学ぶ動機づけにしていく、これが非常に重要である。

主体的に取り組む力、多様性を尊重しながら、確かな学力を身に付け、たくましく生きる力を持った子どもたちを、今後も育み続けていきたい。

2月定例会日程

月	日	曜日	会議名
2	20	火	本会議（会期の決定、提案説明）
	26	月	本会議（一般質問）
	27	火	本会議（一般質問）
	28	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
3	1	金	予算委員会（質疑、分科会分担・委託）
	4	月	総務委員会・予算委員会総務分科会
	5	火	総務委員会・予算委員会総務分科会
	6	水	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	7	木	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	8	金	経済委員会・予算委員会経済分科会
	11	月	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	12	火	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	13	水	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	18	月	予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）
	22	金	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

(議会事務局 TEL 55-5432)

令和5年11月定例会の議員別表決結果

賛否の分かれたもの

議案等番号	案件名	委員会の審査結果	志翔の会						
			中 村 ひ かり	村 松 り え	岩 本 雅 之	川 島 光 雅	石 倉 徳 茂	石 倉 雅 章	南 波 巖 美

市長提出議案

議 第 91 号	松江市ガス事業譲渡先選定委員会条例の制定について	原案可決	<input type="radio"/>						
議 第 151 号	令和5年度松江市一般会計補正予算（第6号）	原案可決	<input type="radio"/>						
議 第 164 号	松江市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	<input type="radio"/>						
議 第 165 号	松江市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決	<input type="radio"/>						

請願・陳情

陳情 第 52 号	議会会議録の Web サイト公開について	不採択	<input type="radio"/>						
陳情 第 53 号	日吉ふれあい会館閉鎖の「通知を撤回」し、「現状での存続」を求める陳情	不採択	<input type="radio"/>						

全会一致で可決したもの

市長提出議案

議案番号	案件名
議 第 114 号	松江市情報公開条例及び松江市個人情報の保護に関する法律施行条例の一部改正について
議 第 115 号	松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例の一部改正について
議 第 116 号	松江市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議 第 117 号	松江市総合文化センター大規模改修（空気調和設備）工事の請負変更契約締結について
議 第 118 号	財産の無償譲渡について
議 第 119 号	財産の取得について
議 第 120 号	市道路線の廃止について
議 第 121 号	市道路線の認定について
議 第 122 号	松江市及び米子市並びに境港市が締結した定住自立圏形成協定の一部変更について
議 第 123 号	松江市及び米子市並びに安来市が締結した定住自立圏形成協定の一部変更について
議 第 124 号 ～ 議 第 150 号	指定管理者の指定について
議 第 152 号	令和5年度松江市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議 第 153 号	令和5年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計補正予算（第1号）
議 第 154 号	令和5年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）
議 第 155 号	令和5年度松江市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

議案番号	案件名
議 第 156 号	令和5年度松江市水道事業会計補正予算（第2号）
議 第 157 号	令和5年度松江市下水道事業会計補正予算（第3号）
議 第 158 号	令和5年度松江市ガス事業会計補正予算（第2号）
議 第 159 号	令和5年度松江市交通事業会計補正予算（第3号）
議 第 160 号	令和5年度松江市病院事業会計補正予算（第2号）
議 第 161 号	松江市総合文化センター大規模改修（建築）工事の請負変更契約締結について
議 第 162 号	財産の無償譲渡について
議 第 163 号	松江市職員の給与に関する条例等の一部改正について
議 第 166 号	令和5年度松江市一般会計補正予算（第7号）
議 第 167 号	令和5年度松江市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
議 第 168 号	令和5年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計補正予算（第2号）
議 第 169 号	令和5年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第2号）
議 第 170 号	令和5年度松江市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
議 第 171 号	令和5年度松江市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
議 第 172 号	令和5年度松江市水道事業会計補正予算（第3号）
議 第 173 号	令和5年度松江市下水道事業会計補正予算（第4号）
議 第 174 号	令和5年度松江市ガス事業会計補正予算（第3号）
議 第 175 号	令和5年度松江市交通事業会計補正予算（第4号）
議 第 176 号	令和5年度松江市病院事業会計補正予算（第3号）

この表は電子表決の集計結果に基づき作成しており、賛否が分かれた議案等について結果をお知らせします。

○：贊成 ●：反對 議：議長 除：除斥 空欄：欠席、不在等

賛否状況*																			議決結果							
松政クラブ					明政会					民主ネットワーク				公明クラブ				日本共産党 松江市議団	無会派							
小澤一竜	原田守	野々内誠	吉隆	森脇勇人	森島良信	三進	三島明	三島美	細ときこ	米治	柳幸好	森通也	立好也	山宏	森秀	津歳	川治	海邦彦	太哲	長修二	田明子	中たかはな	舟ふみ	木伸	錦行	織健治

○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決

※議員の賛否の状況は、委員会の審査結果に対する賛否となります。

議員提出議案

議案番号	案件名
議員提出議案第4号	松江市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について
議員提出議案第5号	企業版ふるさと納税制度の延長を求める意見書について

議案番号	案件名
議員提出議案第6号	緊急浚渫推進事業債の延長を求める意見書について
議員提出議案第7号	認知症との共生社会の実現を求める意見書について
議員提出議案第8号	パレスチナ地域における人道支援に関する決議について

陳情審查結果

不採択となったもの

陳情 第52号	議会会議録のWebサイト公開について	(陳情者) 議会の「見える化」を求める市民の会 福嶋 怜美 伊藤 孝志
	(委員の意見：議会運営委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議録の作成については、正確かつできる限り短期間で完成するよう取り組まれている。そして、会議録の完成までは動画を視聴することができ、機会損失や時間損失を招いているとまでは言えないと考えるため、不採択。 ・情報発信は非常に大事なことであり、議会で話し合いながら迅速化を求めて改善してきた。現状を超えてさらに迅速に公開していくことは難しいと考えるため、不採択。 ・機会損失には当たらないと考えている。陳情の内容は、すでに取り組んでいる、もしくはこれから取り組もうとしているものであるため、不採択。
陳情 第53号	日吉ふれあい会館閉鎖の「通知を撤回」し、「現状での存続」を求める陳情	(陳情者) 日吉ふれあい会館存続の会 井上 愛子
	(委員の意見：教育民生委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会からの意見を集約した上で結論を導いており、地元の方との対話も一定程度されている。また、施設閉鎖後の対応についても検討されていることから、不採択。 ・松江市では、広い地域も狭い地域も各地区1つの公民館に集約するという方向性で進めており、八雲だけこれを認めることはできないと考え、不採択。 ・自治会内での意見の取りまとめという点でも、まだ課題が残っている状況であり、日吉地区以外の方の利用もある中で、広く住民の声を聞き物事は決めるべきであると考え、採択。



請願・陳情についてはこちら
(松江市議会ホームページへ)



新庁舎建設特別委員会

(11/14開催)

～新庁舎第2期移転の計画について～

財政部より、新庁舎第2期棟が令和7年10月に完成後、各部署の移転を順次行い、令和8年5月7日の全館オープンを目指していくとの説明がありました。

委員から、移転にかかる経費削減について質疑があり「第2期棟完成後、計画的に移転を進め、引っ越し業者の繁忙期である3月を避けて移転することで、経費の削減を図る」との答弁がありました。

また、全館オープンの時期が当初計画とずれることについての質疑に対し「当初は令和7年秋に建物ができ、令和7年の年末から年明けぐらいのところで全館オープンというイメージであったが、第1期棟移転の経験をもとに移転計画を具体化させると、令和8年5月ぐらいになる」との答弁がありました。

松江市総合計画特別委員会

(12/14開催)

～令和4年度の松江市総合計画の実施状況について～

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」について、令和4年度の実施状況の概要報告がありました。本計画は実効性、即応性を高めるために政策項目ごとの評価検証を毎年実施しており、KPI（※）総数105項目のうち、令和4年度の実績値の把握が困難な項目などを除いた72項目について評価を行い、達成した項目は38項目との報告がありました。

委員から、総合計画実施状況にかかる市民への周知について質疑があり「松江市総合計画審議会の結果はホームページで公開しており、総合計画の取り組みについては、出前講座で説明している。今後も総合計画の実施状況の報告や周知に努めていく」との答弁がありました。

このほか、10月12日開催の松江市総合計画審議会での意見や松江市の人口動態などについて報告がありました。

※KPI…重要業績評価指標。設定した目標に対して、どのくらい達成できているのかを数値化するための指標。



松江市総合計画審議会
(松江市ホームページへ)

総合交通対策特別委員会

(12/18開催)

～松江市地域公共交通計画について～

都市整備部より、公共交通の現状・問題点及び課題の整理と計画の基本方針について説明を受けた後、質疑を行いました。基本方針として「持続可能な公共交通体系を構築するため、限りある輸送資源を効率的に活用した適材適所の交通サービスを提供する」「市民の生活の質の向上と、まちの賑わいの創出のため、だれもが利用しやすい交通ネットワークを整備する」の2点が掲げられ、路線・ダイヤ見直しによる運行効率化やAIデマンドバスの運行、担い手確保のための支援やデジタル技術を活用した利用実績の可視化などについて説明がありました。先進地での視察等を通じて見聞を深め、今後も課題の解決に向けて取り組んでいきます。

委員会行政視察報告

議会運営委員会

～議会のICT化に向けて～

令和5年11月6日～8日
委員長 立脇 通也

【愛知県大口町】議会改革について（タブレットの活用、議会活動方針等）

【三重県四日市市】議会改革検討会議について

【三重県伊勢市】議会のICT化について

現在、松江市議会では、議会審議の円滑化・活性化・ペーパーレス化を図るため、タブレットの導入を進めています。本会議や委員会におけるタブレットの活用方法のほか、会議で配る資料等のペーパーレス化について、他市町議会の状況を調査しました。

松江市と姉妹都市提携を結んでいる愛知県大口町では、

令和元年から議会においてタブレットの運用が本格的に始められており、議会に関するほぼ全ての資料を電子化しています。ただし、予算書や決算書等の見開きで読むことを前提とした資料に関しては、希望者には紙の資料も併せて配付しており、見開きのページが読みにくくなってしまうといったタブレットのデメリットを補っているとのことでした。



〈タブレットを活用した議案審査の説明〉
(大口町役場)

大口町議会の取り組みに関する説明の後、実際の議会運営を想定した「模擬委員会」を開き、議案審査の際のタブレットの具体的な操作等について、大口町議会の議会運営委員会の委員によるマンツーマン形式での丁寧な説明があり、理解を深めることができました。

総務委員会

～防災対策やネーミングライツ事業などについて視察～

令和5年10月17日～19日

委員長 森脇 勇人

【愛知県岡崎市】防災対策について

【三重県桑名市】ネーミングライツ事業について

消防団充実強化の取り組みについて

【静岡県焼津市】防災航空隊の取り組みについて

岡崎市では、防災対策として、災害現場映像通報システムなどの取り組み内容を伺いました。これは、災害現場等において、通報者とテレビ電話を利用して通信することで、現場の状況の確認や通報者のサポートのほか、その映像を消防隊で共有し、スムーズな現場活動に生かすものです。



（災害現場映像通報システムの説明）
（岡崎市消防指令センター）

実際に映像で現場の状況を確認でき、期待していた効果が認められたということでした。

桑名市では、ネーミングライツ事業などの取り組みを伺いました。現在、7つの企業とネーミングライツパートナーシップを結び、ネーミングライツ料のほか、施設の清掃活動や商品の提供などをいただいているとのことでした。このほかにも様々な公民連携事業を推進され、経常収支比率が改善しているとのことでした。

焼津市では、ドローンを活用し、災害現場の状況確認をする防災航空隊の取り組みを伺いました。災害現場の状況確認のほか、火災現場を空撮し、消火活動の検証を実施したり、イベント等で活用したりするなど、様々な面で活用をしていました。

いずれの事例も、松江市での取り組みに参考となるものであり、今後の議会活動の中でしっかりと生かしていきます。

教育民生委員会

～不登校、ヤングケアラー、認知症の対策について視察～

令和5年10月11日～13日

委員長 米田ときこ

【東京都福生市】不登校総合対策（不登校特例校分教室）について

【群馬県高崎市】ヤングケアラーSOS事業について

【東京都町田市】認知症施策について

福生市では、特に中学生の不登校が多く、長期化が懸念されていたことから、令和2年4月、福生第一中学校に不登校特例校分教室を設置されました。ここでは、在籍校への復帰ではなく、不登校生徒の社会的自立を目指しています。支援の仕方が統一され、早期発見や長期化の解消につながっています。

高崎市のヤングケアラーSOS事業は「高崎市の子どもは



（ヤングケアラーSOS事業についての説明）
（高崎市役所）

高崎市で守る」という市長の強い理念のもと、家事や家族の介護等を日常的に行う子どもの負担軽減を図る必要性から、令和4年度に始まった事業です。教育委員会と福祉部がワンチームで取り組むことで、学校と連携した早期発見

や、福祉事業者との連携、サービスの活用を図っています。

町田市は「認知症の人にやさしいまち」のビジョンのもと、認知症の人や家族の視点を重視した地域づくりを進めています。スター・バックス店長からの提案により、認知症カフェをお店で開催するようになり、街のカフェに気軽にいくような感じで、本人や家族が喜んで参加されるようになったそうです。

不登校、ヤングケアラー、認知症など、本市にとっても大変重要な課題です。先進地に学ぶことで、新たな視点をいただきましたので、今後の議会活動に生かしていきたいと思います。

経済委員会

～観光施策、「食」を活用した事業、有機農業推進事業を視察～

令和5年10月11日～13日

委員長 森本 秀歳

【神奈川県横須賀市】観光立市推進アクションプラン

【静岡県熱海市】宿泊税、観光DMOの検討状況

【神奈川県小田原市】美食のまち小田原推進協議会の取り組み

【静岡県掛川市】有機農業産地づくり推進事業

横須賀市では、市内全域を大きなミュージアムに見立て、市内に点在する、開国から近代につながる歴史や文化の見どころと自然豊かなスポット、観光施設をつなぐ周遊ルートを「よこすかルートミュージアム」と称して観光誘客を取り組んでいました。

熱海市は、近年観光客も団体から個人や小グループへ

と変化してきていることから、観光地域づくりの新たな推進体制となる「熱海型DMO（観光地域づくり法人）」の構築の検討、安定した財源確保のため宿泊税の導入に向け取り組みを進めていました。

小田原市は、地物を生かした「美食のまちづくり」プロジェクトに取り組み、民間事業者との連携により、地元の豊かな食材や人材の付加価値を高め、「食」を活用した事業を展開し、事業者の誘致や観光客増加等を図り、地域経済の活性化につなげるとしていました。

掛川市は、国が示した「みどりの食料システム戦略」に則り、お茶をはじめとする有機農業の推進に着手しています。お茶の海外輸出は年々増加し、学校給食の食材にも力を入れているとのことでした。



（有機農業産地づくり推進事業の説明）
（掛川市役所）

建設環境委員会

～駅周辺のまちづくり・環境基本計画について視察～

令和5年10月12日～13日

委員長 石倉 徳章

【広島県福山市】働く・住む・にぎわいが一体となった
福山駅前について

【兵庫県姫路市】姫路市環境基本計画の取り組みについて

福山市では、国から新しいまちづくりのモデル都市に選定された「働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前」をテーマに、官民連携による福山駅周辺再生の取り組みとウォーカブルな道路空間活用の取り組みを座学と現地視察で調査しました。行政主導で再生ビジョンを示すことで、民間との連携でより具体的かつ実効性の高いソフト・ハードのプロジェクトを定めたデザイン計画を策定されました。

現地視察の際には、いたるところから担当職員へ明るい

声掛けが見受けられ、官民の良質な信頼関係と双方のまちづくりへの熱量を感じました。

「官民それぞれの不動産オーナーヘビジョンを共有し、共通認識を持つことが大切」とのこと、今後の松江市のまちづくりを進めていくうえでも参考となりました。

姫路市では、姫路市環境基本計画についてと、脱炭素先行地域に選ばれた「姫路城ゼロカーボンキャッスル構想」の取り組み内容について調査しました。観光地としての脱炭素の取り組みについては松江市も同様であり、国からの交付金事情や、観光分野ならではの脱炭素に向けた取り組みの魅せ方、市全体の意識の変化など参考となりました。



〈官民連携による福山市駅周辺再生の取り組みについて〉
(iti SETOUCHI(イチセトウチ))

～松江市・宝塚市姉妹都市 提携55周年記念事業～ (10/21～22)

松江市と兵庫県宝塚市は、昭和42年に「特急やくも」がお互いに停車する「ご縁」で姉妹都市提携が結ばれました。以来、両市は市長、市議会だけでなく文化、経済、観光、スポーツ、教育など幅広い分野での交流はもちろん、近年はお互いの市職員の人事交流や「災害時相互応援協定」なども結び、関係を深めてきました。

コロナ禍の影響により大規模な交流を控えていたところでしたが、10月21日、22日に松江市長、市議会議長、議員だけでなく、様々な分野でご活躍の各種団体の皆様にも沢山ご参加いただき、官民の訪問団（68名）で11年ぶりに宝塚市を訪れました。記念式典やレセプションが行われ、お互いの交流を深めました。



〈宝塚大劇場にて記念撮影〉

議員定数等調査特別委員会を設置 (12/20)

議員定数及び議員報酬に関する調査研究を行うため、9人の委員で構成する議員定数等調査特別委員会を設置しました。委員は下記のとおりです。

○立脇 通也（明政） ○川島 光雅（志翔） たちばなふみ（共産）
石倉 茂美（志翔） 田中 明子（公明） 森脇 幸好（明政）
津森 良治（民主） 森脇 勇人（松政） 三島 良信（松政）

○委員長、○副委員長

議長の公務 (主なもの)

10/5：全国自治体病院経営都市議会協議会
正副会長・監事・相談役会議（開催：
松江市）

全国自治体病院経営都市議会
正副会長・監事・相談役



〈挨拶する吉金議長〉

10/19：島根県市議会議長会 総会

11/12～11/14：中国杭州市訪問（友好都市提携20周年）

編集後記

この度の能登半島地震で犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

議会広報等委員会委員になってようやく3年目が過ぎようとしています。この委員会での大きな仕事は、議会毎に発行する「まつえ市議会だより」の編集制作です。しかしSNSが発達、拡大するなかでは、我々の作る紙媒体は新聞同様「速報性」が大きく劣ってしまいます。加えて、本会議だけでなく委員会まで録画配信しようかと検討されている現在では、紙媒体の優位性は何であろうかと悩む毎日です。

議会広報等委員 錦織 伸行

「市議会だより」への皆さんでの意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等委員会（松江市議会事務局）

電話(0852)55-5053 ファックス(0852)55-5533
議会事務局メールアドレス giji@city.matsue.lg.jp

松江市議会

